

※2023年5月2日～2025年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	ながい ひろし 永井 博	職名	特任教授（文学修士）
専門分野	日本近代文学、日本文学		
所属学会	日本近代文学会、日本文学協会、金沢大学国語国文学会、四日市大学学会		
担当科目	入門演習 a、入門演習 b、文学概論、キャリア基礎 a、政策科学入門 I、四日市学、インターンシップ b、日本文化論、表象文化論、国際協力演習		
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		概 要	
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		全学 FD 活動の一環として、授業改善アンケートに取り組んだ。また、それとは別に「日本文化論」「文学概論」において、学生に授業に対する感想・意見・質問・その時間の講義のポイントなどを書かせ、翌週の授業において質問に回答するなどして授業の改善に取り組んだ。授業のポイントを書かせた場合には、コメントを付し、評価をつけたうえで翌週返却し、定期試験の準備の時に使うように指導した。さらに、学期途中でそれまでの講義内容の復習の時間にし、復習用のプリント資料を使って学生に復習させた。また、ゼミ授業である「入門演習 a」、「入門演習 b」においては、できるだけ双方向の授業にすることを心がけるとともに、「入門演習 a」では、できるだけ学生が新しい友人関係を構築できるような授業の展開を心掛けた。	
2. 作成した教科書、教材、参考書		「文学概論」では、与謝野晶子「君死にたまふ事なかれ」、内村鑑三の「日露戦争非戦論」、幸徳秋水「戦争来」、トルストイ「悔い改めよ」、ボブ・ディラン「風に吹かれて」、谷川俊太郎・武満徹「死んだ男の残したものは」、九条の会、文学者の反核声明などについての資料を作成した。「日本文化論」では、ブルーノ・タウト「日本文化私観」、加藤周一「雑種文化論」、谷崎潤一郎「陰翳礼讃」、三島由紀夫「文化防衛論」、坂口安吾「日本文化私観」などの日本文化を論じた評論についての資料を作成した。「表象文化論」では竹山道雄「ビルマの堅琴」などについての資料を作成した。	
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし	
4. その他教育活動上特記すべき事項		なし	
II 研究活動			
なし			
III 社会における主な活動			
講演等			
2023 年 8 月	四日市市民大学講師（日記・日記文学の楽しみ）		
2024 年 8 月	四日市市民大学講師（日記・日記文学の楽しみ）		
役員・委員等			
2023 年 8 月～2024 年 3 月	四日市市文化功労者選考委員会委員		
2024 年 8 月～2025 年 3 月	四日市市文化功労者選考委員会委員		
2023 年 4 月～2024 年 3 月	いなべ総合学園高等学校学校関係者評価委員		
2024 年 4 月～2025 年 3 月	いなべ総合学園高等学校学校関係者評価委員		
2023 年 4 月～2024 年 3 月	四日市商業高等学校学校関係者評価委員		
2024 年 4 月～2025 年 3 月	四日市商業高等学校学校関係者評価委員		